

## オンライン日報管理システム導入による業務管理の効率化

1. 林業事業体等名 げんまりんぎょう  
弦間 林業 有限会社 (山梨県笛吹市)
2. 林業事業体の概要
- ①年間素材生産量 2,000m<sup>3</sup> (うち 間伐の占める割合 40%)
- ②生産する主な樹種 ヒノキ、カラマツ、アカマツ
- ③素材生産に関わる作業員数 4名 (1セット4名×1セット)

### 3. 取組の特長

- 業務の進捗状況や作業員の日報管理などを一元管理できるオンラインシステムの導入により、業務管理の効率化を図った。(図1)
- 本システムはインターネットブラウザを利用する web アプリケーションであるため、特別なアプリケーションのインストールが不要。パソコンやスマートフォン、タブレット等様々なデバイスから入力・送信が可能であり、オフラインでも入力内容を保存することが可能。
- 作業員が携帯しているデバイスから作業時間・機械稼働時間・出荷量・写真等のデータを入力・送信することにより、業務管理者はリアルタイムで現場情報を受信できるようになった。正確かつ即時的な現場情報の把握により、従来の感覚的な管理からデータに基づく合理的な管理が行えるようになった。
- 本システムは、システム販売を(株)アクティオ、システム開発を晃洋設計測量(株)が行い、弦間林業(有)は開発アドバイザーとしてシステム開発に関与した。

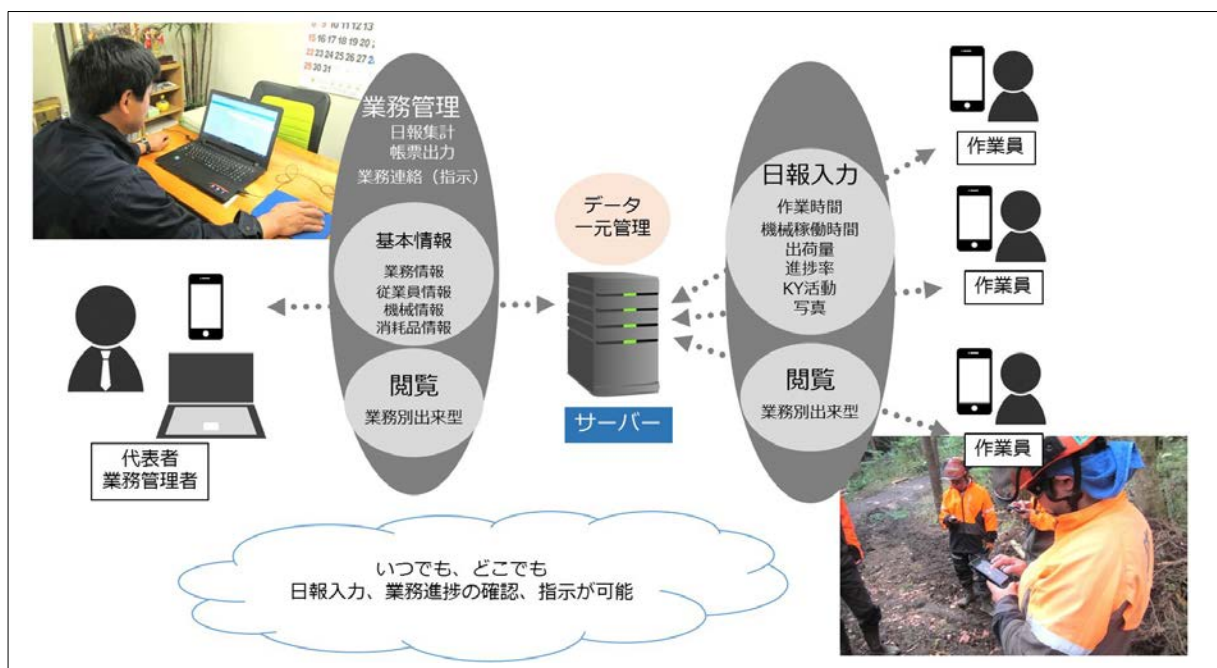


図1. オンライン日報管理システム利用イメージ

#### 4. 具体的な内容

- 従来の現場管理は、作業員が現場から会社に戻り、作業状況を記入又は入力していた。このため、会社までの移動時間や入力作業時間が業務効率化における課題であった。また、業務管理者は、作業状況の集計に時間を要し、リアルタイムでの状況把握や指示が困難であった。
- 本システム導入により、作業員は現場での入力・送信が可能となり、会社に戻る時間を縮減できるようになった。業務管理者は、データをリアルタイムで受信できるため、作業の進捗を確認しながら、適切な判断と指示が可能となった。現場全体から個人の仕事量まで、データに基づく正確かつ即時的な業務管理が行えるようになった。（図2）
- 各現場での進捗状況や機械・燃料類の使用状況等は、全ての作業員が閲覧できるように設定し情報の共有化を図った。これにより、作業員のコスト意識が向上した。また、KY活動の内容や写真のアップロードによる情報共有化により、日々の安全確認の徹底が図られた。
- 入力内容は自動集計及びGSV出力が可能のため、1ヶ月間あたり3日間要していた集計作業が1日間に縮減された。また、現場指示の効率化や通勤時間の短縮、作業員のコスト意識向上等により、労働生産性が約40%向上し、素材生産コストが約14%縮減された。（表1）



図2. オンライン日報管理システムの活用方法

表1. 労働生産性及び素材生産コスト

	従来システム（過去3年間平均）	新システム
労働生産性（m3/人・日）	3.2	4.5（40%増）
素材生産コスト（¥/m3）	7,500	6,500（14%減）

#### 5. 今後の取組等

- 現状では短期間における現場ごとの集計管理であるが、今後は年間目標に基づく人件費・機械稼働・収益等の集計管理について検討するとともに、素材生産以外の幅広い業務管理で利用できるようシステム改修を検討する。
- 本システムは平成29年12月に一般向けにリリースされた。システム販売を行う（株）アクティオにおいては、一般ユーザーからの意見も取り入れ逐次システム改修を行っていく方針。

#### 【問い合わせ先】

所属：山梨県森林総合研究所 研修・普及科

役職、氏名：主任・林業普及指導員 小峰 正之

連絡先：0556-22-8001